



「火消鯨」のオープンを祝い、くす玉を割る地元の園児



Shimonoseki Topics



共同運用開始式に出席した
村田美祢市長(左)と中尾下関市長(右)

「中核市サミット 2013 in 下関」

全国42市の中核市が一堂に会する「中核市サミット2013 in 下関」が、11月7日に海峡メッセ下関で開催されました。サミットでは基調講演の他、「環境問題」「行財政改革」「防災対策」をテーマとした分科会で中核市市長・副市長による熱い議論が交わされ、その成果を広く発信するため「下関宣言」が採択されました。翌日は「中核市市長会議 in 下関」が下関グランドホテルで開催されました。



中核市サミット開会式であいさつする中尾下関市長

新消防庁舎・火消鯨 竣工式

10月10日に岬之町で運用を開始した新消防庁舎の完成を祝う式典が、10月25日にありました。美祢市との消防指令業務共同運用開始式も行われ、下関市・美祢市の両市長をはじめとする約200人が出席しました。当日は、10月26日にオープンした下関市消防防災学習館「火消鯨」のオープニング式典もあり、防災について学べる施設として供用を開始しました。

食の祭典「第2回 コラボグランプリ」

11月9日、コラボグランプリがゆめシティでありました。「商品だけでなく、作った「人」やそれにまつわる「ストーリー」も含めて審査する食のコラボグランプリです。これは全国大会で、1回目は高知2回目下関で開催されました。今回は10商品がエントリー。参加者はグランプリ受賞を目指し、白熱したプレゼンテーションを行いました。会場では物販や試食もあり、多くの人でにぎわいました。



グランプリに輝いたのは、
お野菜でつくった調味料「ピーマンしょうゆ」

高橋是清の 功績をたたえて

高橋是清の偉業をたたえる顕彰碑が完成し、その除幕式とシンポジウムがありました。高橋是清(1854~1936)は、日本銀行2番目の支店である西部支店の初代支店長で、日本銀行総裁や蔵相、首相を歴任。その功績を後世に伝えようと、実行委員会が企画しました。シンポジウム「高橋是清と下関」では、基調講演やパネルディスカッションが行われました。



南部町の旧支店跡(現在の明治安田生命下関ビルの敷地内)につくられた顕彰碑



約8,800人が参加したマラソンのスタート

マラソンで盛り上がった下関の秋

今秋も二つのマラソン大会があり、多くのランナーが市内を駆け巡りました。10月19日の「つしまタヤけマラソン」には、約1,500人が参加。絶景の角島大橋を駆け抜け、それぞれ秋の角島を楽しんでいました。11月3日の「下関海響マラソン」



15ヶ所地点の給水所にて



つしまタヤけマラソンで角島を駆け抜けるランナー

2013年には1万566人が参加。2ヶ所、5ヶ所、マラソンの各部を、沿道からの声援の中、多くのランナーが走り抜き、雨にも負けず大きな盛り上がりを見せました。



関門橋の塔頂

関門橋開通40周年 塔頂体験ツアー

本州と九州を結ぶ関門橋が11月14日に開通40周年を迎えました。これを記念して、10月20日、普段上ることができない橋を支える鉄塔の頂上に登る「塔頂体験ツアー」がありました。抽選で選ばれた74人の下関・北九州両市の参加者は、エレベーターと階段とはしごを登って塔頂に着。海拔約140メートルの高さから関門海峡や眼下を通過するミニカーのような車を眺め、絶景を楽しみました。

8月に東京都で開催された全日本バレエ・コンクール（ジュニアB部門）13歳で、野久保奈央さん（15）が優勝しました。課題曲には動きが激しくジャンプの多い「海賊」を予選と決勝で、繊細な踊りの「ジゼル」を準決勝で披露。「ジゼル」では上手に踊れなかった部分があつたので、優勝という結果に、正直驚いた」と振り返りました。

4歳の時に黒田節子バレエスタジオ（綾羅木南町一丁目）を見学したことがきっかけでバレエを始め、約2〜3時間の練習をほぼ毎日行います。レッスンではバーを使つての基礎練習の後、回転やジャンプなどを取

自分が打ち込めるものに出会えて嬉しい

「舞台で踊ることが楽しいので、バレエをずっと続けていきたい」という野久保さんの挑戦は、これからも続きます。

9月からは白鳥の湖の「オデイル」という曲に挑戦。「きついこともあるけど、そこで頑張つたらもっと上手になれるし、強くなれるから頑張ろうと思う」と野久保さん。

野久保 奈央さん

平成25年度 全日本バレエ・コンクール 13〜15歳の部で優勝

